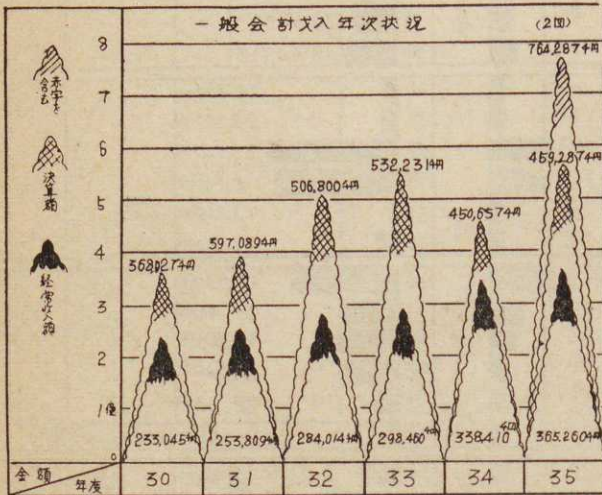
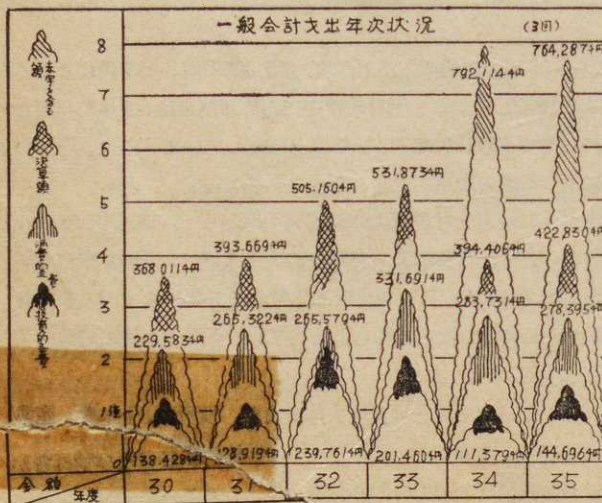


焼津市の財政事情

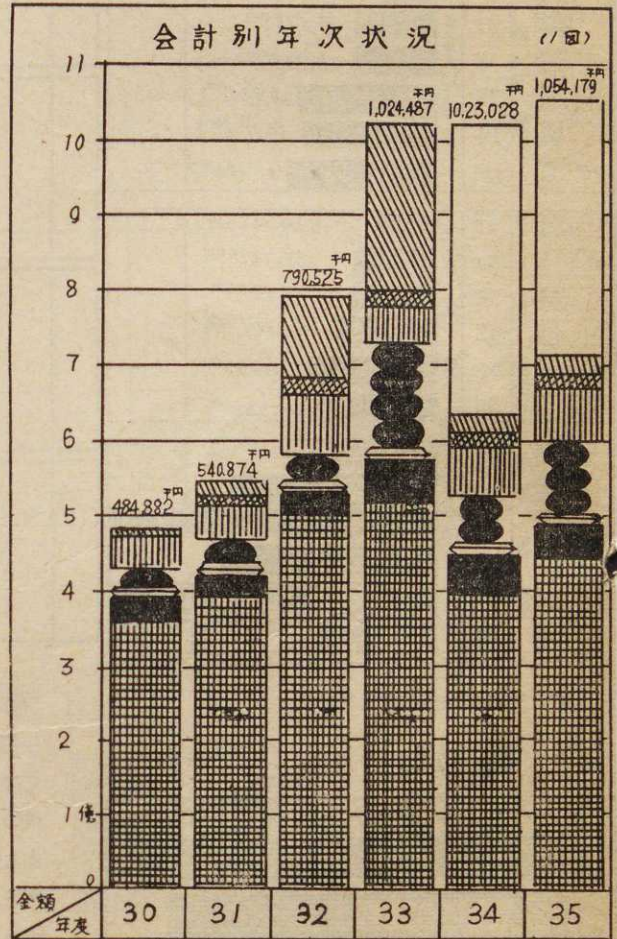
毎年6月と12月の二回、市の財政事情をみなさんに公表しています。今回はその12月の公表です。いままでの公表は、その半年毎あるいはその年の決算状況を中心に公表したのですが、今回は昭和30年度から昭和35年度までの決算額（昭和35年度分については9月末現在予算額）を図表にし、それぞれの年の移り変りを中心に表わしました。



34年度において、予算規模が減少していますのは、財政再建団体になったので一般的な経費を縮小して赤字額を返済するためです。



消費的経費の増加は年々財政規模の増によって増えたものですが、34年度と35年度の縮小は再建団体になったので、物件費等を節減したものです。



33年度分中その他の会計として2億円ありますが、これは競輪会計の開催費が含まれています。また、34年度分の赤字額は397,708千円で、35年の赤字額は341,512千円。差し引34年度において56,251千円返済しました。

(才出)

一般会計科目別年次状況

(才入)

(4図)

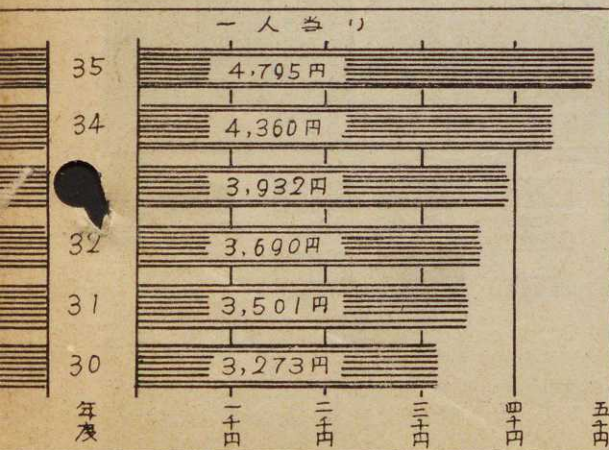
科目		年度		54万円		1億円	
一 歳 会 費	30	9,478千円	25,864千円				
	31	8,879千円	18,504千円				
	32	8,364千円	26,517千円				
	33	7,221千円	24,298千円				
	34	7,934千円	25,793千円				
35	7,704千円	26,282千円					
二 賃 所 費	30	52,554千円	18,245千円				
	31	55,269千円	12,322千円				
	32	62,111千円	11,530千円				
	33	64,844千円	28,635千円				
	34	71,077千円	13,803千円				
35	70,044千円	15,344千円					
三 消 所 費	30	13,550千円	30,376千円				
	31	15,445千円	34,575千円				
	32	13,701千円	35,233千円				
	33	13,165千円	58,856千円				
	34	12,777千円	54,778千円				
35	12,777千円	61,484千円					
四 土 木 債 費	30	38,333千円	24,845千円				
	31	48,402千円	35,781千円				
	32	48,921千円	36,290千円				
	33	60,790千円	40,801千円				
	34	46,879千円	52,183千円				
35	70,706千円	49,562千円					
五 教 育 費	30	110,635千円	44,131千円				
	31	77,203千円	87,085千円				
	32	99,216千円	163,279千円				
	33	224千円	87,689千円				
	34	46,893千円	61,902千円	49,610千円	(市立病院)		
35	66,405千円	43,922千円					

決算額中における割合(構成比)			科目	年度	決 算 額				
100	80	60			54万円	1億円	1億5千万円	2億円	2億5千万円
47.1			市	30	173,175千円				
43.3			市	31	191,952千円				
42.3			市	32	214,358千円				
43.1			市	33	229,198千円				
57.2			税	34	257,562千円				
61.8			税	35	283,732千円				
7.1			地方	30	28,379千円				
8.2			地方	31	32,420千円				
6.7			交付	32	33,860千円				
6.4			税	33	34,183千円				
9.0			税	34	40,406千円				
5.1			税	35	23,512千円				
8.2			国	30	30,194千円				
6.7			県	31	26,513千円				
4.6			支	32	23,505千円				
6.8			出	33	36,425千円				
8.1			金	34	36,576千円				
10.6			金	35	48,405千円				
4.3			市	30	15,700千円				
5.8			市	31	23,100千円				
24.3			市	32	123,000千円				
21.8			市	33	116,000千円				
2.5			債	34	11,000千円				
6.0			債	35	27,500千円				
24.5			雑	30	90,081千円				
13.9			雑	31	55,154千円				
10.3			雑	32	52,394千円				
7.4			雑	33	39,511千円				
4.9			雑	34	22,163千円				
2.9			雑	35	13,635千円	3,892千円			
8.2			そ	30	30,498千円				
17.1			他	31	67,950千円				
11.8			の	32	59,794千円				
14.5			の	33	76,914千円				
18.3			の	34	82,950千円				
13.6			の	35	62,216千円				

の好景気によって、市税が増加したためです。

負担の状況

(6図)



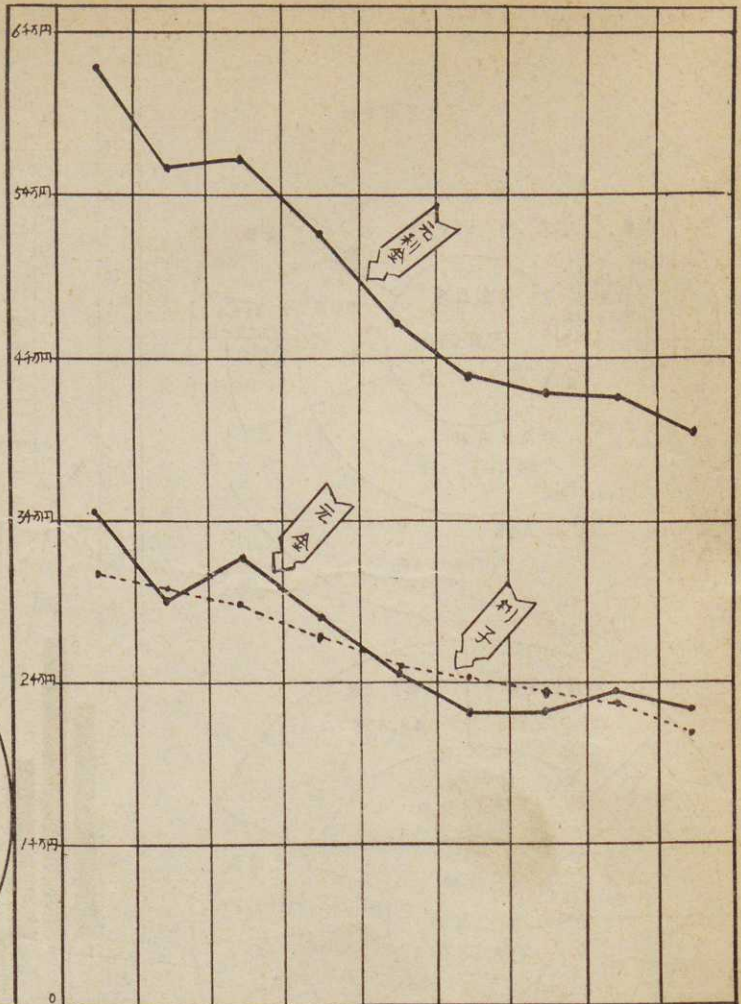
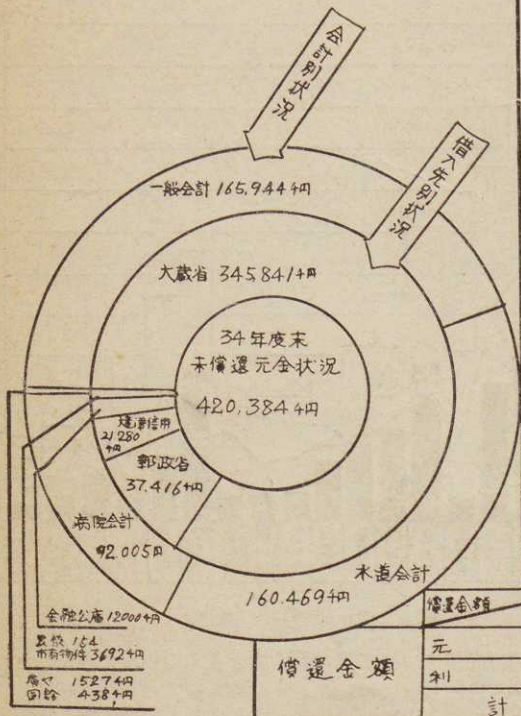
(4図の説明) 市税の自然増収が34年度に28,000千円、35年度に26,000千円と大市に増収しており、予算規模中に占める割合は、大体33年度までは42~47.8%であり、34年度、35年度と増加していますのは、予算規模の縮小により市税の比重が大きくなったためです。

また国県支出金、地方交付税は大体30,000千円から40,000千円で7~10%を占めており、また市債の32・33年度の大市な増は、学校整備資金を借入れたためであり、雑収入の減少は30年度から32年度まで学校整備資金が減少したためです。その他の収入としては、寄附金、使用料及び手数料等の収入です。

(5図の説明) 才出中で主な経費は大体教育費、役所費、土木費、産業経済費その他の諸支出金です。教育費は小中学校の建設費及び物件費が主で、役所費は職員給与用度の物件費であり、土木費は都市計画事業とか、道路新設改良事業費で、産業経済費は漁港修築を中心に農業土木費及び農業費で諸支出金は、他会計繰出金等が主なものになっており、32年度分の163,277千円の内には病院建設が含まれています。

公債費の現在額及び償還計画

(7回)



償還金額	年数	元金	利息	計
34	30,782	27,257	58,039	
35	25,849	26,383	52,232	
36	27,888	25,286	53,174	
37	24,128	23,406	47,534	
38	20,929	21,903	42,832	
39	18,374	20,500	38,874	
40	18,422	19,310	37,732	
41	19,225	18,105	37,330	
42	18,867	16,867	35,734	

35年度借入額	一般会計	27,500千円	海岸保全事業費	5,000千円
	都市計画事業費	8,000千円	市立病院増築債	27,000千円
	学校建設債(西小分)	14,000千円	水道事業債	10,000千円
	漁港修築事業費	2,500千円	合計	64,000千円

一時借入金等の状況

毎年増加しているのは国民所得

一時借入金

財政再建資金	341,000千円
日歩	1銭1厘3毛 郵政省
市立病院財政調整資金	700千円
日歩	2銭4厘 焼津信用金庫
計	348,000千円

立替金の借入状況

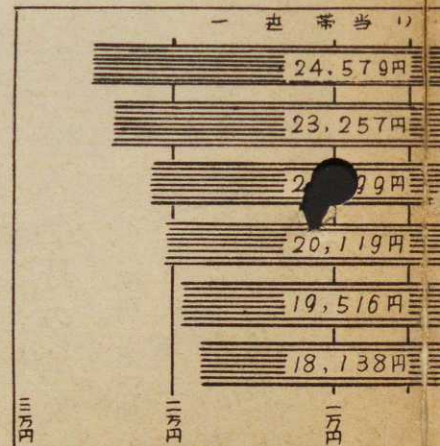
岡部焼津線工事立替	2,960千円
利子補給率 2銭5厘	北浜通り舗装委員会
県営新川橋改築工事立替	1,867千円
利子補給率 2銭6厘	焼津漁協
和田藤枝線改築工事立替	1,067千円
日歩	2銭8厘 大富地区々長

焼津堀之内線補装工事立替	320千円
なし	小川新地区区長
吉永焼津線補装工事立替	480千円
なし	"
計	6,694千円

予算外義務負担の状況

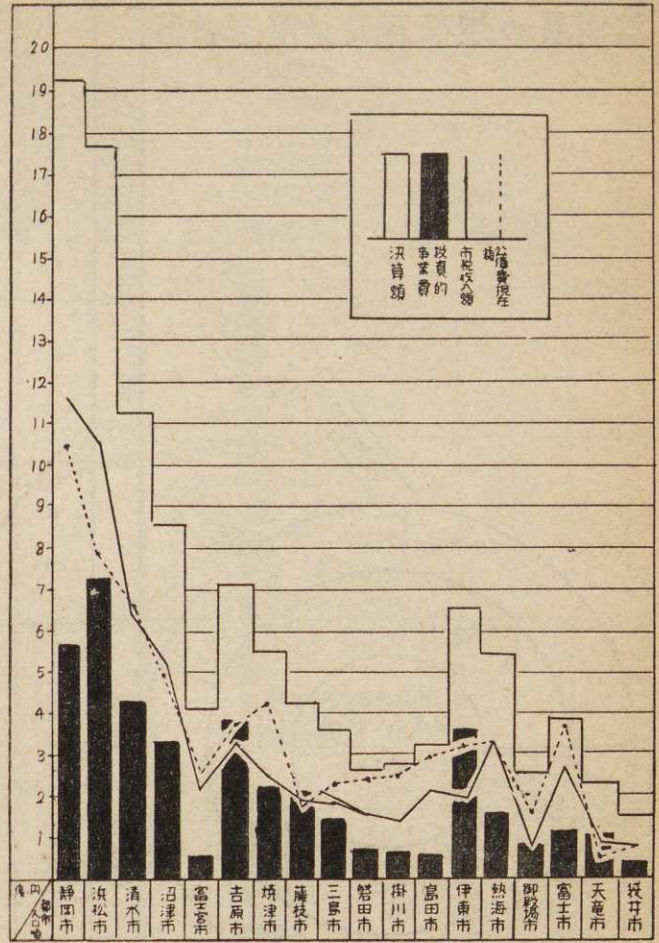
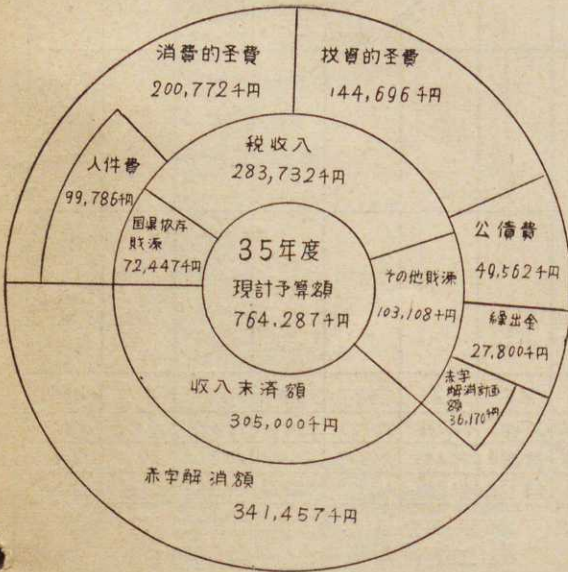
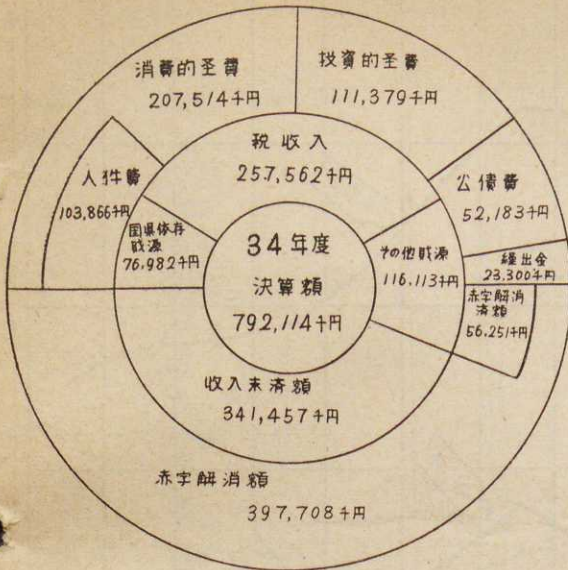
温泉堀さく経費の予算外義務負担	
35年度分	350千円
36年度分	350千円
焼津天然瓦斯鉱業	
し尿処理対策費の予算外義務負担	
35年度	400千円
36年度	500千円
37年度	400千円
38年度	400千円
39年度	400千円
40年度	400千円
41年度	400千円
42年度	400千円
六間・清水川土地改良区	
計	3,300千円

住民



経費別内訳状況 (9回)

県内都市別決算状況 (8回)



おわりに

現在の焼津市は発展につれて財政面も大きくふくらんできました。つまり産業面も漁業を中心に、商工業、農業も大きく拡大され、経済の好況と共に焼津市は発展しているのです。公共事業も都市計画事業を中心に、漁港の第二次拡張事業、海岸地帯の防波堤の建設、道路の新設改良、小中学校々舎の整備、市立総合病院の建設、土地改良事業等各種の事業を着々進めてまいりました。ついに昭和33年度決算において397.708千円の多額の赤字を出し、34年7月に財政再建法の準用団体として、向こう9カ年間に赤字額を解消することになり、34年解消計画額34.560千円でしたが、決算において56.251千円解消し、35年度も計画額36.170千円繰上償還をしたいと考えています。これは再建団体としての枠から出て、真の自主性を持ちたいためです。

しかしながら、他面極力市経済発展の基盤のため投資的事業を中心に、行財政を積極的に推進して健全財政を確立するため、みなさまと共々努力していきたいと思っております。最後にこの財政事情の公表について、くわしいことをお知りになりたい方は、いつでもお気軽に総務課へお出かけください。

年末清掃についておねがい

ことしも残り少なくなりました。年末のし尿、塵芥等の処理について、つきのように実施しますからお知らせします。

※

し尿処理作業：十二月三十日
午前中（し尿汲取り申込
みは十二月二十六日で締
切ります）

塵芥収集作業：十二月三十日
午前中
し尿の汲取りについては年

おわび

十二月一日号本紙上で国勢調査人口予想の当選者を発表致しましたが、二等に佐藤さん、ごさんの外、西川金子さんが入賞しております。掲載もれを致した事をおわび致します。

今月の納税

固定資産税 才三期分
国保税 十二月分
今月は二十六日が納期限です。出張徴収は十二月二十四日まで

末に一度に申込まれても作業がはかどりませんから早めに申し込まれるようお願いいたします。また大掃除の際、たくさんのごみが出た場合も、衛生課にご連絡ください。

もぐり業者にご注意
なおこれらの処理はすべて市の直営ですが、最近無許可で汲取りをする者があるようです。もぐり業者は定まった捨て場所がないため不法投棄をしますので、衛生的にもきわめて悪いものです。

また料金についてもその場で徴収はいたしておりませんから、もしそのような者が現われましたら料金を渡す前に市の衛生課にご連絡ください。